

群馬大學工業會報

特集 工学部の発展を目指して

〔I〕国際学術交流及び産学官共同研究



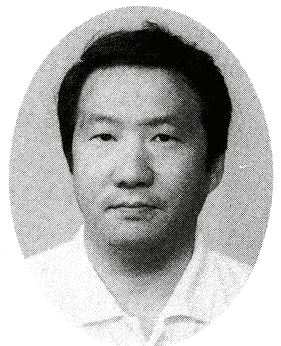
Sept. 1991 No. 105

情報工学科助教授 宮 沢 三 造

4月に三島にある国立遺伝学研究所より転任してまいりました。専門は生物物理学で、DNA、蛋白質の一次配列解析および三次構造解析です。特に、一次配列の持つ遺伝情報のデータベース化およびそれを用いて配列の類似性検索、配列の持つ機能に関係した配列モチーフの解析などに興味を持っています。また蛋白質の一次構造から三次構造への折り畳み過程を研究しています。

大学院を出てからこれまで研究所のみで働いてきたので、他分野の方と交流する機会があまりありませんでした。研究分野は境界領域ですので、工学部にいるメリットを生かした研究ができれば

と思っております。情報処理教育を担当しますが、教育経験はほとんどありません。これからは学生の方と接する機会が多くなります。新鮮な考えを吸収できたらと期待しております。どうぞよろしく願いいたします。



建設工学科助手

萩原 敏行

平成3年2月1日付で本学建設工学科に赴任致しました。昭和59年本学建設工学科卒業、昭和61年東工大大学院修士課程修了後、同年4月より約5年間宇都宮大学に勤務しておりました。

専門は土質力学であり、現在は砂および砂レキの強度・変形と支持力特性に関する研究に取り組んでおります。

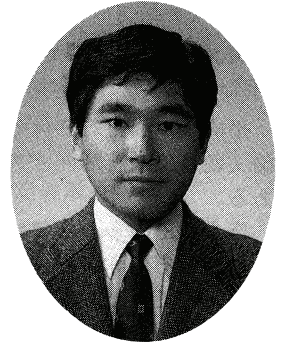
桐生は自然に恵まれ、素晴らしい環境でありますので、自分の研究テーマをじっくりとまとめて行きたいと思っております。

趣味としては、学生時代からの延長でスキーとテニスをやっておりますが、最近ではあまり時間

がもてなくなりました。群馬県は、スキー場も多いのでぜひ再開したいと思っております。

迎えて下さいました諸先生方の御期待に応えるよう努力いたしたいと決意しております。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



情報工学科助教授

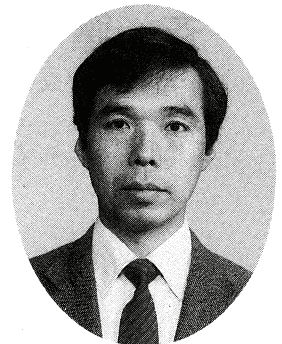
吉田 利信

平成3年4月に千葉大学から転任してまいりました。私の研究分野は、生体情報工学で、現在は主に、神経回路網の高速学習法について研究を行っています。また、この学習法に関連して、自動微分法を用いた非線形最適化問題の解法、および、自動微分法を容易に利用するためのシステムなどについても研究を行っています。今後、これらの研究を、神経回路網モデルを用いた音声の認識および生成過程の研究へと発展させていく予定です。

本学の情報工学科は、計算機環境が非常によく整備されていて、これまではなかなか実行することができなかった大規模なシミュレーションが、

容易に実行できます。

この計算機環境に加え、自然環境など諸々の環境に恵まれている本学において、大いに研究成果をあげるよう努力いたしますので、どうぞよろしく願っています。



情報工学科助教授

宮沢 三造

4月に三島にある国立遺伝学研究所より転任してまいりました。専門は生物物理学で、DNA、蛋白質の一次配列解析および三次構造解析です。特に、一次配列の持つ遺伝情報のデータベース化およびそれを用いて配列の類似性検索、配列の持つ機能に関係した配列モチーフの解析などに興味を持っています。また蛋白質の一次構造から三次構造への折り畳み過程を研究しています。

大学院を出てからこれまで研究所のみで働いてきたので、他分野の方と交流する機会がありませんでした。研究分野は境界領域ですので、工学部にいるメリットを生かした研究ができれば

と思っております。情報処理教育を担当しますが、教育経験はほとんどありません。これからは学生の方と接する機会が多くなります。新鮮な考えを吸収できたらと期待しております。どうぞよろしく願っています。

